

# 活動10年、歩み冊子に

## 「農村の魅力再確認を」

### 那須塩原の三区町環境保全隊

【那須塩原】農道や水路、生態系などの農村環境の保全に取り組む「三区町環境保全隊」（佐々木賢代表）が活動開始から丸10年を迎え、歩みを冊子にまとめた。環境保全活動を進める傍らイベントなどを実施する中で、地域の子どもをはじめ、農業者と非農業者間の交流も深まるなど活動の幅を広げている。同隊は「人を含めた地域の魅力を再認識する機会になってくれたら」としている。

（石田聡）

## 多彩イベント、写真で紹介

同隊は、農業の担い手不足などによる農業資源の維持困難を背景に2007年4月、農水省事業の一環として活動を始めた。環境保全に加え、農業者と非農業者、新規住民との混住化が進んでいたことで、「人

と人のつながりの構築」が課題となっていたという。

発足当初から地域の子どもと「生き物調査」を行うなど活動の幅を少しずつ広げると、都市住民との交流や那須疏水の歴史を学ぶ活

動などさまざまなイベントを次々開催し、地域内の非



発足から10年間の活動を記した冊子を手にする三区町環境保全隊の佐々木代表（右）と鈴木事務局長

農業者、地域外の住民との交流を深めてきた。

鈴木良雄事務局長は「活動を通じ、自然を愛する人や興味を持つ人がだんだんと増えた」と振り返る。

12年1月には「国事業にかかわらず活動を継続するため」（鈴木事務局長）、

同隊とは別にNPO法人「三区町地域資源・環境保全会」を設立。シンポジウム開催など、さらに活動範囲を拡大している。

発足当初約300人だった隊の構成員は現在、約400人に増えた。15年度の活動参加人数は延べ3千人を超え、これ

まで視察で受け入れた総団体数は78団体、約1500人に上る。

同隊は「今後も活動を継続し、さらに充実させたい」と意気込む。

冊子はA4判、カラー88ページ。写真をふんだんに使い活動内容を分かりやすく紹介している。無料（送料別）。同隊事務局080・5961・9684。